



仁医会グループ
Jin Medical Group



牧田総合病院
Makita General Hospital

牧田リハビリテーション病院
Makita Rehabilitation Hospital

薬剤部





薬でささえる、安心を

薬剤部では、患者さん一人ひとりに寄り添った医療の提供を大切にしています。2012年に病棟薬剤業務実施加算を取得して以来、薬剤師全員が病棟に常駐し、患者さんと直接関わりながら治療に貢献しています。

また、薬剤部はチーム医療にも積極的に参加し、さまざまな専門チームと連携しています。これにより、患者さんの治療の質を高めるだけでなく、薬剤師としての役割を最大限に発揮しています。

さらに、リハビリテーション病院の薬剤師や法人内の健診センター、老健施設との密な連携を通じて、急性期医療にとどまらず、幅広い医療分野での学びを深めています。薬剤部全体でキャリア開発を支援し、機械化を進めることで調剤業務の効率化を図り、病棟業務の充実にも注力しています。患者さんへの思いやりと専門知識を基に、一丸となって日々の業務に取り組み、より良い医療を提供できるよう努めています。

牧田総合病院
薬剤部部長

佐藤 正太郎



VISION

すべての人に
安心を

MISSION

病院を変える、
地域を変える

SPIRIT

「愛情・親切・丁寧」
の実践

キャリアステップ

経験年数を重ね、専門的な知識や臨床的な経験を身に付けていくなかで業務の幅や活躍する場所が変化していきます。

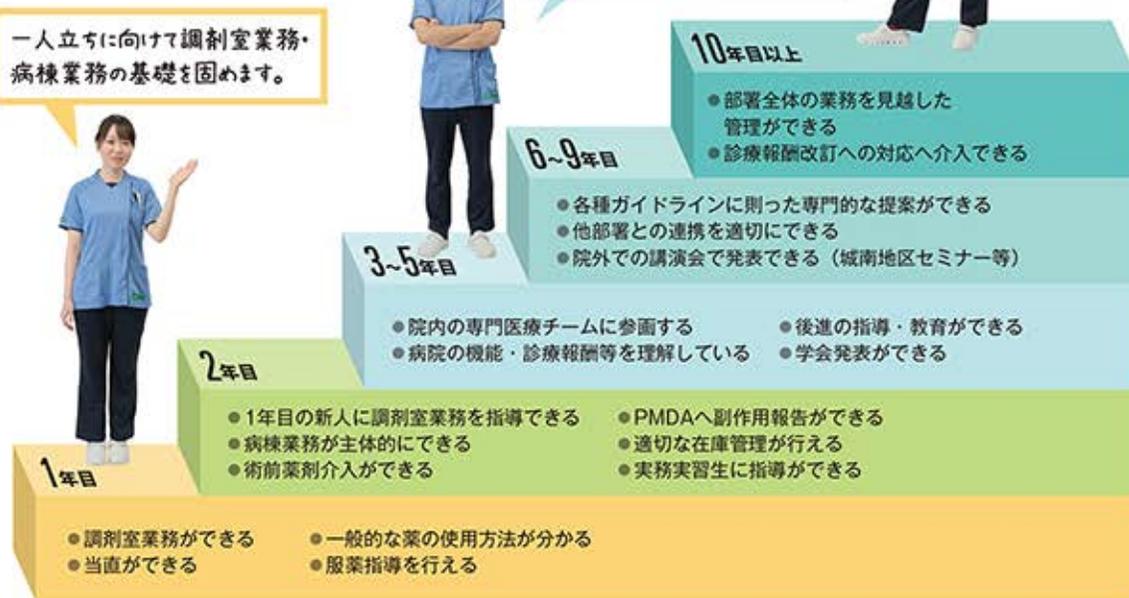
また、医療の高度化と専門化に伴い病院薬剤師に求められることが増えています。それに対応するべく中長期のキャリアステップを作成し、薬剤師としての成長を支援しています。

近隣の薬局や病院との連携をいかり地域に貢献しています！また、若手や中堅の相談役にもなっています！

日本大学
2008年卒
T.M.さん

一人立ちに向けて調剤室業務・病棟業務の基礎を固めます。

カンファレンスや委員会などチーム医療の中心となって活躍します。

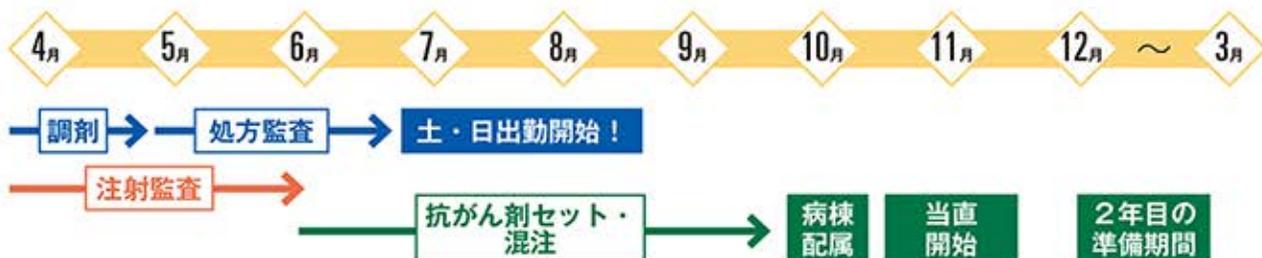


専門分野を持ち
認定・専門を取得

新人スケジュール

新人への教育は3~5年目の薬剤師が中心となって行います。

1年目から調剤室業務・病棟業務どちらにも従事する形となっており、教育カリキュラムやマニュアルを活用して、偏りの少ない教育を目指しています。



当院では、教育担当・新人それぞれの進捗リストを用いて、現状把握できるようにしています。1年目は新しく体験すること・不安なことたくさんあるかと思いますが、いつでも周りの先輩を頼ってください。一緒に頑張っていきましょう！

昭和大学
2013年卒
N.I.さん

主な日勤スケジュール

調剤室業務は日々業務の内容が変わるため飽きません!

昭和薬科大学
2007年卒
K.S.さん



AM 調剤室
(抗がん剤混注)
PM 病棟

服薬指導



入院患者さんに薬の説明や副作用の確認などを行います

抗がん剤混注



入院・外来の患者さんの抗がん剤を調製しています

薬剤部3つの特徴!

- 1 中央業務専任・病棟専任の形はとっていません
- 2 毎日午前午後で調剤室・病棟が変わります
- 3 すべての業務に携わります

業務に慣れるため毎日奮闘中!

帝京平成大学
2022年卒
H.K.さん



AM 与薬準備
PM 調剤室

与薬準備



患者さんの薬を1週間分セットします

調剤室(持参薬鑑別)



入院患者さんが持参された薬を確認し入力作業を行います

調剤室(内服調剤)



F-waveという機械を用いて調剤することで取り間違いなどの調剤ミスを防いでいます

13:30

12:30

昼休憩

11:30

昼休憩

11:30



M.Base(職員ラウンジ)でランチ

11:00

調剤室(注射セット)



アンプルピッカーを用いて入院患者さんの注射を用意します

始業
08:45

始業
08:45

10:00

10:30

15:00

終業
17:00

終業
17:00

先輩の声

当院の特徴は、興味のある分野の仕事へ積極的に参加できることです。
様々な分野で活躍している薬剤師を紹介します。

先輩の
声

がん患者さん一人ひとりに 寄り添う薬剤師を目指して

当院では抗がん剤の混注・監査は薬剤師全員で従事しています。混注業務は、閉鎖式の安全キャビネットを使用し、曝露対策を取っています。また、PCを用いた監査システムを導入することで正確な投与量を計り取ることができるようになりました。

抗がん剤担当薬剤師は、患者さんから副作用を聴取し、薬剤師同士で相談し合いながら、医師へ抗がん剤の減量・休薬、支持療法薬の追加等を提案しています。

現在は入院患者さんへの介入を主に行っていますが、今後は外来患者さんに対しても積極的に介入を行い、「外来がん治療認定薬剤師」等の資格取得を目指しています。

星薬科大学 2019年卒 M.S.さん



先輩の
声

チーム医療の一員として 活躍する薬剤師へ

私が参加している抗菌薬適正使用支援チームでは、抗微生物薬の処方状況を定期的に確認し、必要に応じて医師へ助言を行っております。

当院では薬剤師が医師、看護師などの各職種に抗微生物薬の現在の使い方について説明しており、その中で多くの知識を得てスキルアップに繋がっています。

話し合われたことは各病棟薬剤師に伝達し、最終的に患者さんの利益になるように心がけています。

COVID-19の時代を経て世間の感染症への注目度が上がっている
のでやりがいを感じています。

昭和大学 2017年卒 M.I.さん



先輩の
声

自己研鑽を続け最新医療を アップデートしていく

「術後疼痛管理」の研修を終了し、術後疼痛管理チームの一員として働いています。

手術を受けた患者さんの痛みを評価し、症状に応じた対策をとるため、毎日他職種とともに回診を行っています。様々な職種と連携を取るため密なコミュニケーションが不可欠です。

資格取得に必要な実習を含めた講義の費用は、すべて病院が負担のため金銭的な負担を考えずに資格取得に取り組むことができました。私は資格取得を通して新しい知識を得ることができました。今後も研鑽を積み、患者さんの術後の疼痛緩和に励んでいきたい
と思います。

昭和薬科大学 2019年卒 M.K.さん



牧田リハビリテーション病院



牧田リハビリテーション病院は回復期、生活期(維持期)の医療・リハビリテーション、在宅医療、介護を担う病院としての機能を担っています。

在宅復帰を目標にリハビリテーション医療を集中的に行う回復期病棟と気管切開、人工呼吸器を装着されている神経難病など重度の障害を抱えた患者さんを、積極的に引き受けている医療療養型病棟で構成されています。



薬剤師は牧田総合病院(本院)から交代制で配属されています。多職種カンファレンスが頻繁に実施され、退院後の生活を見据えた話し合いを行っており、薬剤師はそれぞれの患者さんの生活に合った処方案の提案を行っております。また、入所期間が長いので、より深く患者さんの薬物治療に介入できます。



聖薬科大学
2019年卒
M.O.さん

介護老人保健施設 **大森平和の里**

介護老人保健施設「大森平和の里」は、要介護状態と認定された利用者に対し、介護保険法令の主旨に従った、利用者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるようにするとともに、利用者の居宅における生活への復帰を目指した介護保険サービスを提供します。



「大森平和の里」には週に2回、薬剤師が交代制で訪問し、利用者さんの与薬準備を行っています。また、看護師や介護士と薬について話し合い、利用者さんがADLを維持し安心して暮らせるサポートを行っています。

城西大学
2014年卒
S.Y.さん



インターン
シップ・病院見学
やっています ▶




牧田総合病院
〒144-8501
東京都大田区西蒲田8丁目20番1号

牧田リハビリテーション病院
〒144-0051
東京都大田区西蒲田4丁目22番1号

